

2014 年度國際學術シンポジウム

—台灣日本語教育におけるイノベーションの探求—

日 期：2014 年 11 月 29 日（星期六）

會 場：東吳大學外雙溪校區第一教學研究大樓

主辦單位：東吳大學日本語文學系、台灣日語教育學會

協辦單位：東吳大學外國語文學院、公益財團法人日本交流協會

贊助單位：科技部、教育部、外交部、國際交流基金、大新出版集團、尚昂文化事業國際有限公司

時間	議 程	
09:30 10:00	報 到	
開 幕 式(普仁堂)		
10:00 10:20	主 持 人：賴錦雀(東吳大學外國語文學院院長、台灣日語教育學會理事長)	
專 題 演 講 1(普仁堂)		
10:20 11:00	演 講 者：迫田久美子(日本大學共同利用機關法人人間文化研究機構國立國語研究所教授 日本語教育研究・資訊中心主任) 講 題：コミュニケーションのための日本語教育研究—データからわかる学習者の運用ストラテジー— 主 持 人：賴錦雀(東吳大學外國語文學院院長、台灣日語教育學會理事長)	
專 題 演 講 2		專 題 演 講 3
11:15 11:55	場地:R0302 教室	場地:R0305 教室
	演 講 者：崔光準(韓國日語日文學會會長、 新羅大學日語日文學系教授) 講 題：韓國の日本語教育の実態と展望 主 持 人：蘇文郎(政治大學日本語文學系教授)	演 講 者：小笠裕二(上越教育大學語言系教育講座教授) 講 題：小川未明と地方創生 主 持 人：邱若山(靜宜大學日本語文學系副教授)
11:55 13:00	壁報論文發表 地點：R 棟一樓走廊	午餐時間(11:55~13:00) 地點：R0302、R0305 台灣日語教育學會會員大會 (12:00~13:00) 地點：R0312
13:00 13:10	休息時間	
專 題 演 講 4		專 題 演 講 5
13:10 13:50	場地:R0302 教室	場地:R0305 教室
	演 講 者：李京哲(韓國日語教育學會副會長、 韓國東國大學教授) 講 題：分音表を活用した漢字音の研究方法 主 持 人：蘇克保(東吳大學日本語文學系副教授 兼系主任)	演 講 者：吉田妙子(政治大學日本語文學系兼任教授) 講 題：日本語に見られる「自己」と「時間」 —時制意識の背景— 主 持 人：落合由治(淡江大學日本語文學系教授)
13:50 14:00	茶敘時間	

論文發表

	A 會場 (R0302 教室)	B 會場 (R0305 教室)	C 會場 (R0311 教室)
	<p>主持人：陳淑娟 (東吳大學日本語文學系教授)</p>	<p>主持人：賴振南 (輔仁大學日本語文學系教授兼 外語學院院長)</p>	<p>主持人：孫寅華 (淡江大學日本語文學系副教授)</p>
14:00	<p>A1 邀請發表者：磐村文乃 (交流協會日語教育專家) 題目：台湾における日本語教育事情 —「2012 年度日本語教育機関 調査」をもとに—</p>	<p>B1 發表者：曾秋桂 (淡江大學教授) 題目：トポロジ—としての「故郷」の視点 から試みる日本原発文学 —水上勉の『故郷』を中心に— 講評人：黃翠娥(輔仁大學教授兼 外語學院副院長)</p>	<p>C1 發表者：王玉玲 (開南大學副教授) 題目：「大したコトハナイ」の意味・用 法について 講評人：林慧君(台灣大學教授)</p>
15:30	<p>A2 邀請發表者：于乃明 (政治大學教授) 題目：台灣日語教育國際化之回顧</p>	<p>B2 發表者：邱若山 (靜宜大學副教授) 題目：台湾關係文学作品を翻訳授業の教材に する試み—宮脇俊三『台湾鐵路千公 里』を中心に— 講評人：林雪星(東吳大學副教授)</p>	<p>C2 發表者：葉懿萱 (東吳大學助理教授) 題目：仮定条件を表す「ト」、「バ」、 「タラ」、「ナラ」の教授法について —十字分類を応用した試み— 講評人：王淑琴(政治大學副教授)</p>
	<p>A3 邀請發表者：陳艷紅 (中央警察大學教授) 題目：「日本文化研究」教授法の 一考察</p>	<p>B3 發表者：廖秀娟 (元智大學副教授) 題目：戦時下小説にみる<軍国美談>の借 用—真杉静枝「リオン・ハヨンの谿」 「ことづけ」を中心に— 講評人：阮文雅(東吳大學副教授)</p>	<p>C3 發表者：李國玲 (筑波大學博士生) 題目：中国人日本語学習者の「改善要求」 における語用論的転移 講評人：陳美玲(東吳大學副教授)</p>
15:30 15:45	茶 敘 時 間		

論文發表

	A 會場 (R0302 教室)	B 會場 (R0305 教室)	C 會場 (R0311 教室)
	<p>主持人：林長河 (銘傳大學應用日語學系教授 兼系主任、應用日語所所長)</p>	<p>主持人：黃淑燕 (東海大學日本語語言文化學系 副教授兼系主任)</p>	<p>主持人：堀越和男 (淡江大學日本語文學系副教授)</p>
15:45	<p>A4 發表者：落合由治 (淡江大學教授) 題目：日本語教育教材論のための効果的 な文法説明表現 —テキスト論から見た日本語品 詞論の再検討— 講評人：葉淑華 (國立高雄第一科技大學教授)</p>	<p>B4 發表者：林淑璋 (元智大學助理教授) 吳翠華 (元智大學副教授) 林佳燕 (元智大學助理教授) 王旭 (元智大學教授) 勝倉仁 (元智大學專任助理) 題目：英語・日本語の複数外国語学習者に 対してのコミュニケーション・スト ラテジーの指導・応用・実践について 講評人：陳姿菁 (開南大學副教授)</p>	<p>C4 發表者：中澤一亮 (元智大學助理教授) 題目：日本語教師に必要な IT リテラシー 講評人：堀越和男(淡江大學副教授)</p>
16:45	<p>A5 發表者：許均瑞 (銘傳大學副教授) 題目：自己評価にみる「読解力」の形成 —ルーブリックに現れた学習者の 理解レベル— 講評人：黃英哲 (國立台中科技大學副教授兼應日系主任)</p>	<p>B5 發表者：陳明涓 (大同大學助理教授) 題目：会話教室における SNS 利用の効果 —ブレンド型授業の導入を目指して— 講評人：羅曉勤 (銘傳大學副教授)</p>	<p>C5 發表者：內田櫻 (東吳大學博士生) 題目：Can-do を利用した教授者への ビリーフ調査 —GTA 分析法を通して— 講評人：工藤節子 (東海大學助理教授)</p>

閉 幕 式 (普仁堂)

16:50 17:00	主 持 人：蘇克保(東吳大學日本語文學系副教授兼系主任)		
----------------	------------------------------	--	--

東吳大學日本語文學系 台灣日語教育學會
2014 年度國際學術シンポジウム
 —台灣日本語教育におけるイノベーションの探求—

壁報發表議程

2014 年 11 月 29 日(星期六)

壁報論文發表		
編號	時間：11:40～13:00	地點：R 棟一樓走廊
1	發表者：菅谷奈津恵(東北大學准教授) 題目：造語動詞を用いたテ形活用実験—台湾人学習者と日本語母語話者を対象に—	
2	發表者：呂思盈(廣島大學博士課程) 題目：促音語における日本語学習者の音韻的特徴—JSL 環境の台湾人を対象に—	
3	發表者：佐々木陽太(新民高級中學專任教師、靜宜大學碩士生) 題目：台湾「高級職業學校」における日本語教育の研究—新民高中日本語学科を例として—	
4	發表者：黃瑞穎(東吳大學日本語文學系碩士班) 題目：台湾人日本語学習者の自他動詞の習得についての一考察—LARP at SCU の作文コースからの事例研究—	
5	發表者：辻本祐子(東吳大學日本語文學系碩士班) 題目：日本語イラスト教材に見られる「視点」の一考察—授受表現・受身文・使役文を対象に—	
6	發表者：佐伯真代(致理技術學院應用日語系專任講師) 題目：日本語の諺に見られる「テ形節」—日本で作られた諺と漢文系諺の比較—	
7	發表者：玉岡賀津雄・黃郁蕾・齊藤信浩(名古屋大學大學院國際言語文化研究科教授・名古屋大學大學院國際言語文化研究科院生・九州大學留學生中心准教授) 題目：アクセントの知覚・産出の能力は聴解を予測するか?	
8	發表者：早川杏子・魏志珍・玉岡賀津雄(名古屋大學大學院國際言語文化研究科助教・中華大學應用日本語學科助理教授・名古屋大學大學院國際言語文化研究科教授) 題目：バイリンガルの意味的な短期記憶の聴解への影響	
9	發表者：マルケス・ペドロ(早稲田大学日本語教育研究科博士課程) 題目：アイデンティティとことばから見た今後の日本語教育	
10	發表者：趙麗雯(日本首都大学東京人文科学研究科大学院生、佳木斯大學外國語學院講師) 題目：初級日本語教科書における「テイナイ」の提示の問題点—日本語母語話者の使用実態との比較を通して—	
11	發表者：陳祥(國立政治大學日本語文學系研究生) 題目：反復形容詞「憎々しい」の意味用法についての一考察 —「憎たらしい」との対照比較—	
12	發表者：闕振修(東吳大學日本語文學系碩士班) 題目：日本語補助教材としてのマンガ作品の可能性—『こち亀』における語彙を中心に—	